



### 「サロン・あべの」11月の出会い

身近な木々にも紅葉の装いが見られる平成21年11月21日（土）午後1時～4時、育徳コミュニティセンター2階研修室で、清原舞さん（桃山学院大学大学院社会学研究科博士後期課程1年Ⅱ写真）をお迎えして「出会いに感謝して〜Mai・スウェーデン留学記から〜」のお話をしていたきました。

はじめに

大好きなヨーロッパと出会って、23年になります。

父の仕事の関係で初めて海外に行ったのは5歳の時でした。その時行ったのはドイツ、イタリア、ベルギー、スイス、オーストリアなどでしたが、鮮明に覚えているのは食べ物ことです。観光名所

などはあまり覚えていません。

記憶にあるのは、ドイツのノイシュバンシュタイン城で馬車に乗っていたことや、ハイデルベルクの朝市が大好きだったことくらいでした。5歳の時に覚え

## 出会いに感謝して

Mai・スウェーデン留学記から

た。日本人の子どもは珍しがられるので、買い物に行くたびに、チョコレートや果物、ハムなどもらったりして、母がビックリしていました。

スウェーデンへ

スウェーデンに留学していたのですが、たいして興味を持っていたわけではありませんでした。スウェーデンってどの国？という感じで、遠い国でした。大学1年生のときにデンマークに行ったときでした。そこでデンマークの人たちと出会い、ホームステイの体験で第2の家族ともいえるデンマークの家族に出会いました。だから私にとってデンマークが第2の故郷でもありません。デンマークに行ったことがきっかけで北欧の福祉に興味を持つようになりましたが、スウェーデンには全く関心がなく、

デンマークでいつか本格的な勉強をしたいと思っていました。

そんな私が突然スウェーデンに留学。当時在籍していた大学院が、スウェーデンの大学と提携を結んでいたためです。いろいろと調べた結果、デンマークは基本的に大学数が少なく、進学率もスウェーデンよりわずかながら低めです。日本と提携している大学もあまりありませんでした。スウェーデンはいろいろな大学が提携を結んでおり、日本の学生も多く提携し受け入れていました、それと、距離的に留学先の都市は、デンマークやコペンハーゲンに行くのに距離的に近いのです。デンマークのホストファミリーに会いに行きやすいということで、スウェーデンの留学も悪くないと考えました。

留学をするためには言語が必要で、スウェーデンは、ス

ウェーデン語が公用語ですが、英語教育が進んでいるために、英語も若い人ならかなりできま

す。私はスウェーデン語をマスターし、スウェーデン語の本を読む必要もありました。英語では日常会話くらいは問題ありませんが、通じればよいというものではありません。スウェーデン語をマスターしておけば少しはスムーズに生活できるだろうと思いました。スウェーデン語は日本で少し学びました。2003年の秋です。次に2004年の夏に3週間ほどスウェーデンでスウェーデン語のサマーコースに参加しました。留学の1年前で、自分にスウェーデンという国が合っているか、どのような生活ができるかなど、スウェーデンを知るためのものでした。3週間ほどの程度マスターできるか疑問でしたが、帰

国の頃にはスウェーデン語で文

章を作れるようになっており、言葉も聞き取れることができるようになっていました。2005年、留学先のヴェクショー大

学は8月終わりから始まるのですが、一足早くスウェーデンに渡りました。6月半ばから8月半ばまで、ウブサラという街でスウェーデン語のサマーコースに参加するためです。ハードな授業のお陰で、日常生活はスムーズにできるようになりましたし、歴史や文化、食生活など様々な視点から学ぶことができました。また、いろいろな外国の参加者と仲良くなりま

した。外国の友達と仲良くしてゆくには、自分の考えを相手に伝えること、疑問に思ったことは質問することなど大切なことを経験できたのは貴重でした。

それはひとつの世界が広がったことと、幅広い年齢層の人と話すことができたことです。つたなく

ても外国人が一生懸命その国の言葉を話そうとする姿勢が伝われば、相手も一生懸命聞いてくれるものです。あとは、度胸と笑顔で乗り切ってきたのです。違う国に行く時は、最低限の礼儀として、相手が使う言葉、簡単な挨拶程度は覚えていくことが大切だと思います。

#### 留学生活

留学先のヴェクショーは、デンマーク・コペンハーゲンから240kmの所に位置するスウェーデン南部にあります。人口は76,000人。スモーランド(Småland)地方と呼ばれ、昔からガラス工業が有名で、ガラスの王国と呼ばれていました。現在はガラス工業以外にも環境整備に

力を入れていきます。森と湖に囲まれた環境都市であり、小さな田舎の街ですが、ヴェクシヨール大学は、世界中から多くの留学生を受け入れています。ヨーロッパ各国、アメリカ、韓国、中国、日本など。私はソーシャルワークコースを選び、ソーシャルワーク総論、援助論、比較論だけを取るところに決めました。日本と違うところは1ヶ月に1科目が原則でした。秋タームは9月からの授業ですが、高齢者福祉論を取ってなかった私は、総論が始まる10月までお休みでした。大学の先生が言った言葉「スウェーデンは素晴らしい国だと思つて研修や見学に来てくれませんが、スウェーデンも完璧ではありません。それもよく見てほしい」確かに福祉が進んでいるスウェーデンといつても完璧ではありません。法律でしっかりとサービスを受ける権利が保障さ



れているが、個別の援助に目を移すとパフォーマンスではない。自己主張できないものは、理解していないとみなされます。障害者差別もあります。しかし、すごいところはきちんとした生活の保障がすべての人にあることです。私は、授業のないときは、

自分の研究のためコミュニケーションや施設と交渉して見学をさせてもらっていました。

たので、大学側が寮を捜してくれていました。確保された寮は大学から自転車で20分ほどかかる場所で2つの湖の間を縫うように走ります。スウェーデンの寮は男女混合、個室、キッチン、リビングは共用。シャワーは個室についていました。初めての1人暮らしでわくわくしながら部屋の調度を整えて、うれしくてたまりませんでした。が、わたしの部屋はリビングルームとキッチンの隣にあり、お酒の好きなドイツ人と騒ぐのが好きなスペイン人が合流するとどうなるか……。寮がクラブに変身します。うるさすぎてこの毎週のパーティーは拷問に近いものでした。「静かな寮なんてないわ」と笑われましたが寮を変えてくれるように頼みました。そんなに言うなら1人アパートに住んでいる人が寮に移りたがっているからその娘と交換したらということになり、連絡先を教えてくださいました。ドイツ人のその娘はアパートはちょっと寂しいということで、お互いに気に入つて引越しました。ただし、このアパートは元の持ち主がいて1月には帰ってくるというところ……。とにかく逃れたい。心で引越しをきめました。

留学生の生活は、交換留学生的の場合、大学がきちんと住宅を確保してくれまます。私費留学生は自身で捜さなくてはならず苦労しています。私は交換留生であつ

大助かりでした。アパート生活は、自由で気まま。得意の料理をちゃんと作れて、料理にはまり、ストレス解消に料理を作ることを覚えめました。大学にも近くて、よく友達を呼んで料理パーティーやお泊り大会で楽しく過ごしていました。さて、1月が近づいてくるにつれ、住む場所探し。条件は「大学に近い場所」と。決まったのは1月初め、ぎりぎりでした。アパートと寮はそんなに離れていなかったもので、自分ひとりで引越しできると思っていたのですが、首を痛めて歩くのも振動が伝わり痛んだので、仲のよい日本人留学

生2人に手伝いを頼みました。留学生で2回も引越したのは私くらいだと思います。手伝ってくれるよい友達がいたから可能だったわけです。最後のこの寮は、たった半年に満たないものでしたが、一番楽しく過せました。何より国際色豊かで本当に楽しかったです。料理を作るのは私、日本と中国だけとか。後はみんな、レンジでチンで終わり。それを言い合っては、笑っていました。

留学ではとにかく充実していました。国際交流が一番楽しかったです。いろいろな人と出会いました。人との出会いが私にとって、大切なものでした。スウェーデンへの留学のメリットは、驚くほどさまざまな国の人がヴェクシヨールで学んでいることです。寮ではお互いの国の料理を作って、みんなで食べました。スウェーデン独自の文化、夏至祭、

ザリガニパーティー、ルシア祭、クリスマス、イースター・・・どれもが珍しく、楽しいものでした。私達の年の日本留学生は16人。最初から仲がよかったわけではありませんでしたが、「日本食パーティー」を通じて、彼らと

いっしょに行動をとることに決まりました。日本人留学生達がどういう料理を作り、どういうパフォーマンスを行うのかを計画し、日本という国を身近に感じてもらうために、スウェーデンや他の国の留学生を招待するのです。ようやく決まったメニューは、お寿司、味噌汁、あんかけ豆腐、コロツケ、デザートに抹茶カステラの生クリーム添え。お寿司とコロツケは、ベジタリアン用を作ることになりました。そして、日本酒、日本のビールも用意し準備万端。当日は、ヴェクシヨールに住んでいる日本人の方数人にもお手伝

いただいたき、朝から料理の仕込みと飾りつけに追われました。ファッションショー、「よさこい」踊り、空手、歌など、それぞれの得意分野を十分に発揮して、力を合わせて乗り切ったパーティーでした。誰かが言いました「もし、このパーティーがなければ、私達お互いをよく知らな

いまままで終ったよね」と。ヴェクシヨール大学には1人の日本人の先生がいます。今まで日本人の留学生を見てきた先生は、なかなか親しくならない日本人留学生をなんとか団結させたかったのでしょうか。

ン、スイス、そしてスウェーデン語の先生。ヴェクシヨールでは、日本人の留学生、韓国、中国、イタリア、ドイツ、フランス、アルゼンチン、フィンランド、ハンガリー、などなど・・・

2009年2月28日から3月12日にかけて、私は再びスウェーデンに行ってきました。留学中に出会った人たちと再会でき、新しい出会いもありました。私はいつも「さよなら」を言いません。「またね。日本がヨーロッパで！」が口癖になりました。世界は1つ、またお互いの国を行き来しています。これからもスウェーデンへ、そして、ヨーロッパへ行くつもりです。

静かな語り口で、楽しく過された留学生活のお話を聞き、異文化の一端を垣間見た(サロン・あべの)11月の出会いでした。

(参加者20名 富田慶子)

晴れのち晴れ-135-

稲垣 惠雄

■合掌

以前に比べると、最近は寺院でも神社でも合掌している人の姿をあまり見かけなくなった。合掌するという事は山と山を合わせるよりも難しいと言われているので仕方ないことも知れない。でも人間の行動やしぐさの中で合掌する姿がいちばん美しいそうである。

ある園児の母親が、幼稚園の先生に「私の家は仏教徒ではないので給食の時間に合掌させないでください」と抗議があったという。確かに合掌とは仏さまの前で両手の平を自分の胸の前で合わせることから始まったので仏教徒でない者は合掌しなくてもよいのかも知れない。しかし食事や給食の前後に「いただきます」「ごちそうさま」といって合掌するのは感謝の気持ちと同時にそ

の時に頂く食材その物が生きてくるのである。だから合掌はその人の信じる宗教に関係なく、私たちが生きていく上で大切なことだと思う。

ところで明治30年に岐阜の大垣で生まれ、脱疽で両手と両足をなくされた中村久子さんという方がおられた。そのために中村さんは日常生活のどんなことでも口でされていたが、健常者に負けないくらい上手だったという。

ある日、新聞社の取材で「中村さんは何がいちばんご不自由ですか」と尋ねられると、中村さんは即座に「合掌できないことです」と答えられた。私も両手足が不自由だが、中村さんのことを思えば曲がりなりにも合掌できるのでありがたいと思っている。



絵がうたうー

絵とうたうー

童謡♪絵はがき

・春 ・海

・夏 ・花Ⅰ

・秋 ・花Ⅱ

・冬Ⅰ ・子ども

・冬Ⅱ ・雨

・汽車 ・川

・5月 ・母

・お正月 ・虫

もらった人も、思わず、

歌いたくなる、うれしい、

楽しい「絵はがき」

童謡♪絵はがき

■5枚1組 ¥180

## 介護職員のMさんへ

別の遠くの施設に栄転されるとのこと。母  
たいと思います。

から聞きました。おめでとうございます。私  
たち親子はMさんのことをとても信頼してい  
ましたから、正直いつとても残念なので  
が、Mさんのキャリアアップのためには仕方  
がありません。陰ながら応援させていただき

最後の勤務の日に電話でお話できて本当に  
良かったです。父の認知症の症状はますます  
重くなり、会話もほとんど成り立たなくなっ  
てきたと母は言っていました。そのことを嘆  
くように伝えると、あなたは、こうおっしゃ  
いました。

「でも、奥様のことは、よくわかっていらっ  
しゃるようですよ。」「おいっ」とか、おっしゃ  
られて、明らかに職員に対する物の言われ方  
とは違っていますから。」「そうなんですか  
ねえ」と、疑うような声で私が返すと、「え  
え、ええ。わかっただけじゃないんですよ」と、  
静かに、しかし明るく答えてくれました。  
私は、それを聞くと何かがこみ上げてくる  
ようで一瞬、胸が詰まりました。そして声が  
震えないように気をつけながら、ゆっくりと  
言いました。「ああ、そうですか。きっと母  
が聞いたらとても喜びますよ。Mさん、どう  
もありがとうございます。」

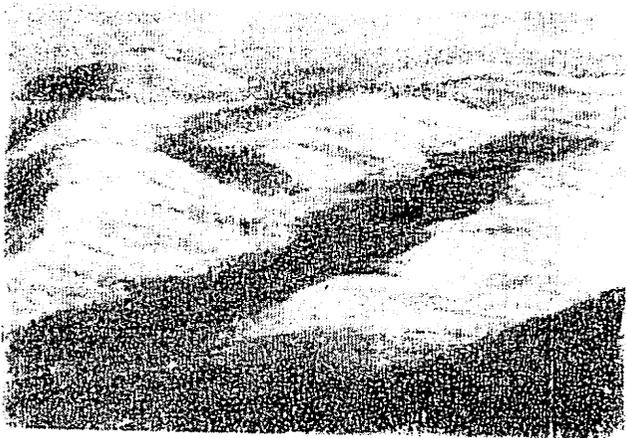
気休めの慰めではないのですね。言われて

みれば、そうなのです。母に伝えると、母は  
小さな声で「たしかに、そうだね。私に対す  
る言い方は少し違う…」と言いました。

何を話しても理解できない、会話も成立し  
ないと思っていたのが、Mさん、あなたの一  
言で、ハッと気がつくことができました。私  
たちの前で、世界がほんの少しだけ違って現  
れ始めました。

父の認知症がまだそれほど重くなかったこ  
ろ、Mさんは施設に通う父を支えてくれてい  
ました。そして、そのころ、母も私も知らな  
かった父の優しい面を教えてくださいまし  
た。デイサービスで近くの山まで他の利用者  
と行ったところ、足の悪い一人の利用者が登  
れないでいると、父は、そのままその人を一  
人にはしておけず、山登りが誰よりも好きな  
はずなのに、その人のそばにいたという話で  
した。

「本当に、お優しいかたですねえ」と、M  
さんは何度も感心したように私たちにおっ  
しゃっていました。でも最初にそれを聞いた  
ときは正直いつても、それがどういふことなの  
かよくわかりませんでした。大きな恐ろしい  
病気の印象に圧倒されて、私には、あなたの



市民フォーラム大阪09 協働事業～サロンおおさか～  
元気の源(みなもと) サロン活動のおもしろさ

日時：平成22年1月30日(土) 10:30～16:00

会場：大阪市立中央会館

(542-0082 大阪市中央区島之内2-12-31)

定員：100人

参加費：無料(雨天決行)

分科会(10:30-12:00)

①「ヘルマンハーブの調べ」

～ヘルマンハーブを聴いて、楽器に触れて、心安らく時間を過ごしましょう～

・スピーカー＝由布康二さん(ヘルマンハーブ教室「音の葉」代表)

②「大きい旅、小さい旅」

～「てくてく」を始めて14年、いろんな所に行ったときのこと、体験してきたことを話し合しましょう～

③「毎日の食生活プラス、ビタミンC」

・スピーカー＝小嶋キクエさん(大阪市食生活改善推進員協議会副会長および東成区会長)

④「エコライフ」

～地域のコミュニケーションを活かして、市民のエコライフの輪(和)を広げましょう！～

・スピーカー：梅田アキさん(ピーチクリーン土佐・代表)

全体会(13:00-15:00)

4つの分科会で話し合われた内容を報告し、サロンの方向を共有してゆく。

ジャズを楽しむ(15:30-16:00)

リハビリ・オヤジバンド 参加者全員で楽しむ

申し込み：お名前と希望の分科会を明記してFAXかメールで申し込んでください。(大阪市ボランティア情報センター 06-6765-4041)

企画団体：サロンおおさか、市民フォーラムおおさか09  
大阪市ボランティア情報センター

声はあまりに平和で、あまりにも小さなことを取り上げていくように聞こえたのです。しかし、いまではMさん、あなたが伝えたかったことが、私にもわかるようになりました。父の認知症は治る見込みのない絶望的な病であり、そこにかかわる現実もまた救いようがなく悲しいはずなのですが、あなたは、その現実を理想化したり、ごまかしたりすることのないままに、温かい光を放つ一つの事

実を見つけてくださった。どんなに真つ暗なところにも、ほんの小さな灯りが一つあれば、それだけでずいぶん見えてきますね。闇の果てまでは照らしてくれなくても、手元が明るくなれば私たちにもできることがあります。認知症には希望がない、衰えるだけの将来だと、ふつうの人なら諦めてしまいます。でも、あなたはそうではないのですね。途方も

なく乾ききった広い砂漠のなかで、小さな水滴のような宝石を見つけ出し、手のひらに載せて、私たちに示してください。そんな誰にもできそうにないことをあなたがしてくださるのは、毎日の介護の仕事のなかで輝く何かをいくつも目にしていらっしやるからなのでしょう。では、お元気で。今後の活躍をお祈りしています。(知)

中村かずみ

## 家族でアメリカ！ ケンタッキー州滞在記

—4—

紅葉の秋はあつという間に過ぎ、連日零下の冬がやってきました。

管理人さんから「煙突のフタを開けました」とお知らせ。入居以来待ちに待った、マシオン居間の暖炉が解禁です！

早速薪（スーパリーの入り口に山積み）を一抱え購入し、パパが意気揚々と火をつけましたが、さほど暖かくはないかも……。セントラルヒーティングは灰も出なくて快適です。でもやっぱり火は美しく、はぜる音も楽しく、週末にはキャンプ気分です火をくべることになりました。

そして、冬と言えばクリスマス。

私たちの滞在した9月からは、ハロウィン・感謝祭・クリスマス・キング牧師デー（1・17）・イースター・聖パトリックデー（3・17）と行事が目白押しです。そのたびに街も学校も飾り付けで賑わい、同じ半年ならいい時期に来たものねとよく言われました。その中でも馴染みがあつて断然うれしいのがクリスマスです！

ハロウィンのころは墓石やカボチャが並んだ広場に、今度はトナカイが飾られます。街灯にリボンが、木々には電飾がつけられて華やか。どの家も飾り付けに工夫を凝らし、中には2階の屋根から人が落ちそう？ とよく見るとサンタ人形という大がかりな家もあつて、住宅街を通るのが楽しい季節でした。

巨大ショッピングモール（中にデパートが4つ）は激安セールで大混雑。広大な駐車場が満車になります。サンタさんにだっこされ写真撮るコーナーでは、子供が「〇〇く

### お知らせ

#### <サロン・あべの>1月の出会い

内容…詩を物語る

- 茨木のり子・金子みすゞ他 -

お客さん…山岸麻耶・浅田幹子さん

会費…なし

日時…1月16日（土）午後1時～4時

会場…育徳コミュニティーセンター2階

研修室（スロープ・車いすトイレ有）

大阪市阿倍野区阪南町5-15-28

TEL 06-6621-1901

最寄り駅＝

地下鉄御堂筋線「西田辺」（エレベーター有）下車すぐ

問い合わせ先…

TEL 06-6691-1028（富田慶子）

ださい」と耳打ちした内容はちゃんと、親に知らされる仕組みらしいです。オモチャ屋では日本のゲームも大人気でしたが、ケンタッキーならではの人氣商品が馬の人形でした。なんとほぼ実物大、子供がまたがれるポニーの口が、電動で動いてエサを食べてくれるのにはびっくりでした！（どんなに広い子供部屋なんでしょう？）

近所の花屋の横には、生クリスマスツリー売り場が特設されました。100本近くのモミの木が大小並ぶ中、屋外暖炉でサーピスの



飾り付け完了ツリー



生ツリー運搬中、重いです！

マッシュマロを焼いて食べ、ホットりんごジュースを飲みながら家族で品定めです。結局、中(2mくらい?)のツリーを59ドルで買いました。斬られた幹を、巨大釘の生えた専用皿に刺して水をやるようになっています。(その皿を翌年持参すると12ドル引き)配達も15ドルで頼めましたが、節約して家族で担いで家に運び入れました。

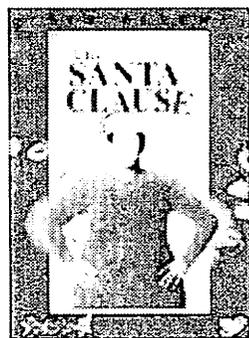
リビングがほんのり良い香り、12月の間まるで森にいるようでした。

そして大学の豪華なパーティー、レキシントンバレエ団のクリスマス公演「くるみ割り人形」、本来のカトリック教会での催しなど日本

では機会のなかったさまざまなことに家族で参加したのもいい思い出です。そんな間ずっと、日本の家に届いたらどうしようかと、サンタからのプレゼントを心配していた子どもたち。アメリカサンタのセンスはお気に召したんでしょうか？



サンタさんと私。マンションの朝食会で



映画「サンタクロース」

のころにはずいぶん、子ども番組やクラスで流るのアニメなど英語のTVも観るようになって、知る限りの英単語でサンタにお手紙を書いています。(カズ

「サンタクロース」(1994年97分)は、厳しい冬の様子をお伝えします。

映画紹介

キの分は弟妹で代筆です！

「サンタクロース」(1994年97分)は、厳しい冬の様子をお伝えします。

年末には雪降り、イヴの夜にはそりに息子を乗せてプレゼントを配ることに……。

「サンタクロース」(1994年97分)は、厳しい冬の様子をお伝えします。

を離れて国内旅行、常春フロリダではプールに入れましたがそれはまた別の機会に。年明けの次回

TV放映を、子どもたちも英語でも楽しんで見ていました。特に、煙突(暖炉)を抜ける魔法に「うちの煙突もこうやって通るのかな？」と、興味津々！ 大阪のサンタは窓から来てましたから。

## 美智子のこんな話

岸田美智子

安くなりました！

私は、車いす住宅が当たったので、来年の2月ごろに、引越しすることになりました。車いす住宅には、6年ぐらい応募し続けていました。大阪市や、大阪府の公営住宅の募集は、よくあるのですが、その中で、車いす住宅の募集があまりありません。その上に、私のように単身者の車いす住宅の募集は、ほとんどないのが現実です。そのおかげで、6年もかかってしまいました。でも、来年の2月に引越せることになったので、今はその準備を少しずつ進めています。

先日、引越し業者に見積もりを頼んでみました。引越し業者を使うのは、私にとって

初めての経験なので、少しなぜか、楽しみにしていました。先日、A引越し社の営業マンが自宅に来てくれて、いろいろ話をしました。最初の見積もりは合計で、13万5000円かかるといわれました。私は最初から、他の業者と比べてみるつもりだったので、この日に契約するつもりはありませんでした。営業マンが、私が決めようとしなかったので、いろいろ聞いてきました。「引越しの費用は役所払いですか？」と、聞かれたので、私は「瞬何のことかと思いましたが、「生活保護制度の中にある引越し費用のことですか？」と聞くと「そうだ」といっていたので、「私は生活保護は受けていないので、自分のお金で払うので、だからこそ逆に、安ければ安いほど助かるのです」と、伝えました。すると、この営業マンは、突然笑い出し、「そうですね。じゃあ、荷造りと、荷ほどきの代金はいらないうです」といいはじめました。この荷造りと、荷ほどきは、本当にお皿1枚もつめなくていいし、冷蔵庫の中のものも、そのままクールボックスに入れて運んでくれるそうですし、出た後の部屋の掃除もやってくれることになりました。他にも、祭日と平日で

は、それだけで値段が1万円違うそうです。私が、「祭日にするか、平日にするか、まだ決めていない」と伝えると、この1万円もいらない、と言い出しました。それでも、私が決めずにいると、「何を基準に決められるのですか？」と聞いてきました。私は、「とにかく初めての経験なので、他社と比べたいのです。それと、障害者への対応の仕方です」と伝えると、「そうですか」と言って、なかなか帰ろうとしませんでした。結局、1時間半くらい、いろいろ話し込んでいましたが、結局4万円も下がって、9万5000円になりました。でも私は、いろいろ比べてみたいので、契約はしませんでした。

この営業マンは、障害者の対応は初めてではないと言っていました。私が自分のお金で負担するから・・・、と言ったときになぜ、笑い出したのかと、考えてしまいました。きつと、正直だなあ、と思われたのかな!? とにかく、言った者勝ちだなあ、と実感できたよ経験でした。もつと安い業者が、さて、出てくるでしょうか・・・。

「邦子、…ん歳の手習い」はお休みです。



1月はどこのサロンの、  
どのテーマが  
お気に入りですか。  
いい出会いしませんか。

### ■「サロン淀川」1月の出会い

日時：1月17日(日)午後1時～4時  
内容：やすらぎ寄席～笑いコミュニケーションで、ええ、コミュニティを創る～  
場所：淀川区在宅サービスセンター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3  
会費：なし  
問い合わせ先：淀川区社協(ボランティア・ビューロー) 〒532-0005 淀川区三国本町2-14-3 ☎06-6394-2900

「サロン淀川」は市民フォーラム大阪09の協働事業に参加しています。

### ■「サロン・にし」1月の出会い

日時：1月9日(土)午後2時～4時  
内容：書初めを楽しもう!  
道具等、当方で準備できています。  
場所：西区在宅サービスセンター「にしがほり」  
大阪市西区新町4-5-14  
06-6539-8075

会費：なし  
問い合わせ先：宮脇淳  
☎090-3949-6973

### ■「サロン・にしよど」1月の出会い

日時：1月30日(土)10時30分～16時  
内容：元気の源(みなもと)サロン活動のおもしろさ

- 10時30分～12時：4つの分科会あり
- ④「エコライフ」を担当します。
- 13時30分～15時：全体会で前半の分科会の内容を共有します。
- 15:00～16:00：ジャズを楽しみます

場所：大阪市立中央会館  
(大阪市中央区島之内2-12-31)

会費：なし  
※事前に大阪市ボランティア情報センターへの申込が必要です。  
問い合わせと申込み先：大阪市ボランティア情報センター ☎06-6765-4041  
中本 ☎090-9864-9678

### ■「ウイズ東淀川」1月の出会い

日時：1月10日(日)午後1時30分～3時30分  
内容：大道芸で新春を祝う  
パネラー：未定  
場所：NPO法人自由空間クラブ  
大阪市東淀川区淡路5丁目  
会費：なし  
問い合わせ先：鈴木昭二  
☎06-6340-3082  
FAX06-6340-3012

### ■「サロンいたみ」1月の出会い

日時：1月16日(土)午後2時～  
内容：お花のリース作り

日時：1月30日(土)午後2時～  
内容：リフレッシュ体験、癒しの空間  
場所：伸幸苑 伊丹寺本町6-150  
連絡先：安藤れい子 ☎072-784-1718

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で(サロン・あべの)紙第281号の音訳テープが出来ました。

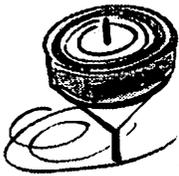
■音訳テープ文庫

- (a) <サロン・あべの>紙は、第1号より第281号までそろっています。
- (b) <サロン・あべの>十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「<サロン・あべの>平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著=糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著=糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著=糸でんわ音訳DJ)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著=糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著=糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著=糸で

んわ音訳DJ)

- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修=大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著=ぼけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳DJ)
- (o) 「もうちょっと知っとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著=糸でんわ音訳DJ)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著=糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著=糸でんわ音訳)
- (r) 「動くしずかに」(河野勝行 編・著=糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン！」(稲垣恵雄著=糸でんわ音訳DJ)
- (t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博=糸でんわ音訳)
- (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著=糸でんわ音訳)
- (v) 富田慶子出演の「ちょっといい話」(朝日放送05.6.26と05.9.18)の録音テープ  
ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。音訳の後のDJ印はディジー録音。

寄りみち



■童謡♪絵はがき・お正月。この歌が発表された明治34年当時、年末は子供たちも家事のお手伝いをしながらお正月は何をして遊ぼうか、などと話し合っていました。歌詞には凧、こま、まり、おいばねが登場します。凧は風を切るときにでる音が悪霊を追い払うと考えられていました。こまは、回る音で悪霊払いをという願いから。まりは、つくことにより体内の悪霊を地面に叩きつける役目があります。おいばねには、負けた子の顔に墨を塗るという決まりがあり、これも悪霊払いのためでした。いろいろな説がありますが、どれも悪霊を払うための道具だったから、お正月の遊びになったのではないのでしょうか。(石)

<サロン・あべの>VOL.282 発行：平成21(2009)年12月19日 定価¥100  
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子  
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941  
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
 ホームページ：http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/「サロン あべの」でも検索できます

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)